

毎月、リビング編集部が郡山市の熊田佳恵さんと共に、街中の身近なユニバーサルデザインを見つけ、こおりやまUD探訪くわたしの街のユニバーサルデザイン」。このコラムのバックナンバーは、郡山市ホームページ「こおりやまUD探訪」で検索を。UDコラムに関する問い合わせは、郡山市市民部 市民・NPO活動推進課 ☎024(924)3471。

リビング編集部が街中の身近なユニバーサルデザインを見つけしていきます



外国人実習生もいつも真剣に仕事に向き合い、チームの一人として活躍しています。



PR

vol.5 株式会社エンドウ



郡山市にも、多くの外国出身の方が暮らしています。言語や文化に関係なく、誰もが暮らしやすい街にするにはどうしたらいいのでしょうか。

上下水道設計・施工等を行う「株式会社エンドウ」は、毎年中国人技能実習生を受け入れています。社内で特に工夫していることがあるか聞くと「特別なことはしていない」と意外な答えが。「人は違って当たり前。自分の文化や価値観

を押し付けず、互いに理解し受け入れていくことが一番重要だと気付きました」と遠藤浩美専務取締役は話します。一緒に働く仲間として自然に接し、食事会や趣味を通して交流する中で互いの文化を知り、親睦を深めているそうです。

多様な人が共に暮らす街をより良くしていくためには、お互いを尊重し、認め合うことが何より大切なことだと感じました。



言語や文化が違うからといって、分かり合えないことはありません。お互いを受け入れていくことが大切だと思います。実習生は目で見て学ぶので、仕事覚えがとっても早い！社内で頼られる存在です。国籍・年齢・性別に関係なく、みんなが働きやすい職場にしていきたいです。

専務取締役 遠藤浩美さん



社内パーティーでは、実習生の皆さんが手作り餃子を振る舞いました。